

平成 28 年度 第 1 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 28 年 4 月 21 日（木）18 時～19 時

【場 所】皇學館大学 9 号館 1 階 小会議室

【出席者】（鳥羽市）榎企画財政課副参事（志摩市）柴原総合政策課課長補佐兼政策調整係長（玉城町）林
総合戦略課参事兼課長（大紀町）田中企画調整課長（南伊勢町）西村行政経営課長（明和町）朝
倉防災企画課企画担当係長

（大学）齋藤教授、櫻井教授、筒井教授、笠原教授、板井准教授、近藤准教授、千田准教授、池山
助教、木村企画部長、森企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員

*欠席 （伊勢市）辻企画調整課長（度会町）中井政策調整室長
（三重銀総研）伊藤常務取締役、別府副調査部長

会議冒頭、榎企画財政課副参事、柴原総合政策課課長補佐兼政策調整係長の紹介が行われた。

【議 題】

1. 平成 28 年度事業計画および運営会議日程と議題について

齋藤教授より配布資料に基づき、H28 年度の事業計画および運営会議日程(案)について説明がなされた。

審議の結果、異議なく了承された。

2. H28 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅰ及び科目Ⅱ授業実施体制について

齋藤教授より配布資料に基づき、説明がなされた。

- 今年度の共生学ではテーマに応じてその都度、市町の方々にゲストとしてお越しいただき、授業を展開。
クリッカーやマナパフォリオなど、新しい教育技法を活用しながら教育改革を進めていく。
- 今年度の履修者数は 75 名。1 学年 700 名としてその 1 割を履修者数の目標としていることから、適
当な数字に落ち着いたと考える。

＜科目Ⅰについて板井准教授から補足説明＞

- 「地域課題を把握する」ということを共生学Ⅰでの重点項目としている。
- （第 2 回授業）

事前学修：三重県内における伊勢志摩の観光特性について気づいた点を 200 字以内でまとめ。

講義：伊勢市、鳥羽市の担当者から 10 分ずつ課題について紹介→「課題の把握」

課題を把握した上で、どのような解決策があるかグループワークでアイディア出し。

さらに 10 分ずつ市町担当者に現在の課題解決への取組を紹介いただく。

事後学修：授業中に考えたアイディアをレポートとして入力、提出。

市町へは事前、事後学修の内容を提供の予定。

- 担当者により若干の違いがあるかもしれないが、テーマを設定することで学生には焦点化された形で
90 分の授業に取組めるのではないかと考えている。
- 昨年度の反省も踏まえ学生へのハードルを高めたが、事前事後学修提出状況は良いといえる。また、内

容についてもしっかりと書き込んでいるものが多く見られた。

- 5/25 の第6回授業はゲストスピーカーの移動等の影響を考慮し休講
- 科目Ⅱについては秋学期に向け、準備を進める。

審議の結果、異議なく了承された。

3. 平成 28 年度 CLL 活動計画、学生募集計画について

齋藤教授より配布資料に基づき、説明がなされた。

- 学生への活動説明会周知を考慮して、今年度は説明会の実施日をあらかじめ設定、開催する予定である。
- 昨年度参加していた学生たちは、活動を通じて得るものが多かったと感じている者が多かったので、市町の方々には学生が参画できるような取組があれば、ぜひご紹介いただきたい。
- 配布資料「皇學館大学 CLL 活動を実施いただける皆様へ」（実施主体向冊子）をもとに池山助教から、CLL 活動の流れの紹介、その中で活動記録票への確認印や活動終了後のコメント記入のお願いなどがあった。また、第 2 回目の活動説明会が 7 月に開催予定であること、CLL への取組みについての相談があれば、地域課題学修支援室へご連絡いただきたいとの説明がなされた。

審議の結果、異議なく了承された。

4. 平成 28 年度自己点検・評価及び外部評価委員会(5 月)の開催について

齋藤教授より説明がなされた。

- 本日、開催通知を市町委員の方へお渡しさせていただく。
- 出欠について、課題学修支援室宛 4 月 28 日（木）までにご連絡をお願いしたい。

審議の結果、異議なく了解された。

5. COC 事業フォローアップアンケート実施・協力について

齋藤教授より説明および協力依頼がなされた。

- 昨年度と同様、アンケート実施。本日、アンケート用紙・返信用封筒をお渡しさせていただくので、記入の上、5 月 9 日（月）までに課題学修支援室宛返送をお願いしたい。

審議の結果、異議なく了解された。

6. 伊勢志摩みらいづくり調査について

筒井教授より平成 27 年度調査結果速報値について配布資料に基づき、説明および依頼がなされた。

- 平成 27 年度はパイロット調査として 2 月に皇學館中、高、大学で全数調査実施。詳細な分析結果は今後報告書としてまとめて報告。
- 今年度は本格調査として圏域市町内の全中、高、大学生対象の調査実施を考えており、ご協力をお願いしたい。（中学：市町各教育委員会への依頼時）

- ・昨年度は学校法人内でのアンケート調査だったため、スムーズに実施されたようであったが、担任の先生などにかなりのご負担をおかけしたと聞いているので、負担軽減策や円滑な調査方法を検討の上、次回（7月）運営会議で原案を提示させていただきたい。

審議の結果、異議なく了解された。

7. 9月開催「第2回本事業取組内容公表シンポジウム」の日程について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・9月4日（日）開催を予定。
- ・今年度は、昨年度授業を受講した学生や CLL 活動に参加した学生を取込みながら内容を企画していきたい。あわせて、県外の大学の学生も入れてはどうかとの意見もある。「ミライを語り合うこと」を共通のテーマとすることは継続していきたい。

審議の結果、異議なく了解された。

8. 平成 29 年度 3 月開催「平成 28 年度自己点検・評価委員会及び外部評価委員会」の日程について

- ・平成 29 年 3 月下旬開催を予定。

9. 科目 I・II のテキスト執筆・編集スケジュールについて

齋藤教授より説明がなされた。

- ・外部評価委員から紙媒体では情報がすぐに陳腐化して、実際の状況を反映した学修内容にならないのでは？という指摘を受けたことから、現在共生学で使用している「マナバ」というポートフォリオの仕組みを使って、学生へテキストを提供していくという方向で進めている。
- ・イメージとしては 1 枚のスライドに項目立てをして、必要な情報を書き込んでいくというもの。例えば、事項書 1 ページ【議題】2 の表に示されている授業テーマごとにスライド 1 枚作成し、さらに必要な情報については追加して書き加えていくよう考えている。
- ・執筆者はその授業回を担当した教員とする。
- ・編集スケジュールとしては授業回が終わるごとに執筆・作成するというスケジュールで考えていることから、その見込みでいくと共生学 II の授業最終回が終了する 1/13 にはテキストの大枠が完成することとなる。

審議の結果、異議なく了解された。

10. その他

プロジェクト研究「定住自立と自然災害に関する領域横断データによる「伊勢志摩共生マップ」の構築」について

板井准教授より配布資料を基に説明がなされた。

- ・平成 28 年度科学研究費採択。

- 研究を進めていく中で、データの情報提供、住民の方へのヒアリング、地質調査（ボーリング調査）などの場面で今後ご協力をお願いいたしたい。

*次回日程

次回（H28年度 第2回）運営会議は、

平成28年7月21日（木）18時～ 皇學館大学 9号館 1F（911）にて開催される
ことが確認された。

以上